

【蓬田村教育委員会】

校務 DX 計画

1. FAX・押印の廃止について

現在、教育委員会から学校への調査依頼等は、主にメールを利用しているが、通知に関しては紙媒体で行っているものもある。FAXの使用や押印について見直しを行い、業務の負担軽減に努める。

2. クラウドツールの活用について

学校から保護者への情報の配信については、クラウドツールとして「一斉配信メールシステム」を活用することで、効率よく、確実な情報共有を行うことができています。

また、本村では、令和7年度から統合型校務支援システムを稼働し、成績処理や出欠管理等の業務の短縮化及び効率化により、教職員の業務の負担軽減を図る。教員間の連絡等については、校務支援システムの導入により、最新の情報を即時に共有できるようになるため、業務の効率化が期待される。

3. 次世代の校務システムについて

教職員の業務の負担軽減や効率化に向け、学校現場における課題や要望について把握し、次世代の校務システムの整備方針について検討するとともに、望ましい校務の在り方について検討を行う。